

Press Release

報道関係者各位

2009年5月28日

スティール・パートナーズ・ジャパン・ストラテジック・ファンド（オフショア）、
エル・ピー

スティール・パートナーズ推挙の全候補者、
株式会社アデランスホールディングスの取締役を選任される
～ 希釈化を伴う公開買付けへの自己株式の応募議案は撤回される ～
～ 日本のコーポレートガバナンスに新たな進展 ～

スティール・パートナーズ・ジャパン・ストラテジック・ファンド（オフショア）、エル・ピー（以下「スティール・パートナーズ」）は、本日開催された株式会社アデランスホールディングス（コード番号：8170）（以下「アデランス」）の第40回定時株主総会において、同社株主によりスティール・パートナーズが提案した取締役候補者全員が取締役に選任されたことをお知らせします。スティール・パートナーズが推挙した取締役は、同社取締役会の過半数を占めることとなりました。

また、スティール・パートナーズが強硬に反対した、公開買付けに対する自己株式の応募議案は、株主の反対を受けて撤回されました。

スティール・パートナーズのウォレン・リヒテンシュタインは、「本日の投票結果は、アデランスの株主が、同社の指導体制と方向性の前向きな変化を強く望んでいることを明らかにするとともに、日本のコーポレートガバナンスに新たなページを開くことになりました。選任された、私どもの取締役候補者は、アデランスの業績向上と株主価値の増大を軌道に乗せるために努力いたします。スティール・パートナーズは、他の株主の皆様が我々に賛同してくださったことに感謝し、また、今後も経営陣や取締役会双方と協働していきたいと思っております。」とコメントしています。

さらにリヒテンシュタインは、「スティール・パートナーズが推挙した新任の取締役は、株主価値増大のために尽力いたします。私どもは、前取締役会が承認した廉価かつ強圧的な買付け提案に強く反対しましたが、今後、財務的な視点から見て全ての株主にとって公平な提案が誠意ある買い手から行われた場合には、新取締役会がその忠実義務に則り、その提案を前向きに検討すると確信しています。」と述べています。

スティール・パートナーズが推挙した新任取締役は、日本を代表する企業運営で培った貴重な経営経験と業務執行の知見をアデランスの経営にも活かすこととなります。

リヒテンシュタインは、「新任の取締役はアデランスの経営と業績に有意義かつ前向きな変化をもたらすことに、意欲を燃やし、コミットメントを示し、かつこれを強く望んでいます。加えて取締役会の独立性は、彼らとアデランスの株主や他のステークホルダーとの利害一致を確実にします。」と説明しています。

スティール・パートナーズは、アデランスの筆頭株主として、全ての株主の利益となるよう、新取締役会に次のような事業目標の達成を促します。

- 収益性の回復とアデランスの中核事業である男性用毛髪事業の運営改革
- アデランスの経営資源を重要な女性向け事業セグメントへ向けるため、女性関連事業を統合
- 効率性と収益性を最大化するため、現在複数ある北米子会社を完全統合
- ターゲット顧客分析、各広告宣伝や販路チャネルの費用対効果の検証を含めた、マーケティングと広告宣伝実務の刷新・改善
- アデランスの長期的安定と業績改善に資する、健全で効率的なバランスを創るための、コスト構造と運転資金需要の見直し
- 非事業性資産の処分を加速
- アデランスの資本の使途を改善するため、資源配分とキャッシュマネージメントシステムを再構築
- 固定費の見直しと改善
- 株主を持分希釈化から守るため、アデランスの自己株式保有を見直し、その消却を検討

スティール・パートナーズは、2004 年以來アデランスに投資している長期的株主であり、現在同社株式を 11,155,000 株、発行済株式数の約 26.7%を保有する筆頭株主です。

スティール・パートナーズ・ジャパン・ストラテジック・ファンド（オフショア）、エル・ピー（SPJSF）について

スティール・パートナーズ・ジャパン・ストラテジック・ファンド（オフショア）、エル・ピーは、投資先企業との長期的な関係を重視し、株主として積極的に経営陣に働きかけるバリュー投資ファンドであり、株主を含む全てのステークホルダーのために企業価値を向上させるべく経営陣と協働します。
